

介護の未来に安心と希望を与えてくれた東京高裁控訴審判決の上告断念を

2020年8月4日提出

検察の上告断念を求める医療、看護、介護、福祉関係者有志

呼びかけ人

伊藤 真美 いのちと暮らしを支える医療・介護・福祉の会共同代表

川嶋 みどり 日本赤十字看護大学名誉教授

鈴木 森夫 認知症の人と家族の会代表理事

住江 憲勇 全国保険医団体連合会会長

2020年7月28日、全国の医療・介護・福祉関係者が注目をしていた長野・特養あずみの里業務上過失致死事件の控訴審が東京高等裁判所第6刑事部で開かれ、大熊一之裁判長は、山口けさえさんが、嚥下障害のない女性がドーナツによって窒息することを予見することはできず、おやつを形態を確認すべき義務はないとして、山口さんの過失を否定し、長野地裁の第1審判決(罰金20万円の有罪判決)を破棄し、無罪判決を言い渡しました。

この「事件」は2013年12月、特養あずみの里で入所者Kさん(85歳)がおやつをドーナツを食べた直後に意識を失い、搬送先の病院で1ヶ月後に亡くなった件で、配膳・食事介助にあたった准看護師山口けさえさんが「業務上過失致死」に問われた刑事裁判です。長野地方裁判所松本支部(野澤晃一裁判長)は、2019年3月25日、検察の求刑通り罰金20万円の有罪判決を言い渡し、山口さんと弁護団が即日控訴し、東京高裁で控訴審が行われていました。

第一審の有罪判決は、無罪を主張する山口さんのみならず、全国の介護関係者、並びに高齢者らにとって少なからず衝撃を与え、わが国における介護内容の後退・萎縮への懸念を、介護関係者のみならず、多くの人々が共有し、無罪判決を求める署名は実に73万筆におよびました。

東京高裁における判決は、第一審有罪判決で生じた上記の懸念を払拭し、介護の現場でリスクや状況をきちんと判断して仕事をしていれば、刑事責任に問われることはないことを示しただけでなく、介護職者らの今後の有用な指針となって、ケアに活かされる画期的な判決であると高く評価します。

これにより、今後のわが国の介護の質を担保し、高齢者、障害者らのQOLの向上に資することになります。

とりわけ、本判決で示された食品の提供に関する事項で、おやつを含めて食事は、医薬品の投与などとは明らかに異なることを基本に、精神面の満足や安らぎにも通じる重要な営みであるとして、リスクを考慮しつつ多様な食物を提供することの必要性と食の楽しみの大切さを認めた見解は、高齢者、障害者らが人間らしく日々の暮らしを保って生きていくことを願う介護者、支援する介護職者の意欲を高めるものです。

つきましては、検察はこの無罪判決を真摯に受け止め、被告席に立たされ6年半にわたって苦しみ続けた山口けさえさんの自由な日常を1日も早く取り戻すためにも、上告しない決定を速やかに行ってくださいよう、強く要請いたします。

賛同者（2020年8月4日 18:00現在） 順不同

井上 智子 国立看護大学校長
内布 敦子 兵庫県立看護大学理事 副学長
太田喜久子 日本赤十字看護大学特任教授
岡谷 恵子 「NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会」
坂下 玲子 兵庫県立看護大学教授
佐藤 紀子 東京慈恵医科大学医学部看護学科教授
茂野香おる 淑徳大学看護栄養学部教授・学部長
南 裕子 神戸市看護大学学長
守田美奈子 日本赤十字看護大学学長
山本あい子 四天王寺大学看護学部学部長・看護学研究科長
田村やよひ 国立看護大学校名誉教授
中島紀恵子 北海道医療大学名誉教授
中山 洋子 福島県立医科大学名誉教授
菱沼 典子 三重県立看護大学理事長・学長
小松 浩子 日本赤十字九州国際看護大学 学長
上泉 和子 青森県立保健大学理事長・学長
宮子あずさ 看護師・ライター
林 千冬 神戸市看護大学教授
江森けさ子 NPO 法人峠茶屋訪問看護ステーション所長
片田 範子 関西医科大学看護学部教授
上泉 和子 青森県立保健大学理事長・学長
森山美知子 広島大学大学院医系科学研究科教授
川原由佳里 日本赤十字看護大学教授
吉沢豊予子 東北大学大学院医系研究科教授
宮城恵里子 前健和会臨床看護学研究所副所長
曾我 千春 金沢星稜大学教授
桜井 和代 元東京都立城東職業能力開発センター非常勤講師
色平 哲朗 佐久総合病院医師
片倉 和彦 双葉会診療所院長
天羽 道子 かにた婦人の村名誉村長
小島 美里 NPO 法人暮らしネット・えん代表
沢田 貴志 港町診療所所長
高岡 直子 大田病院在宅医療課医師
本田 宏 外科医・NPO 法人医療制度研究会副理事長
篠崎 良勝 城西国際大学准教授
新井 康友 佛教大学社会福祉学部准教授

高木 博史 岐阜協立大学経済学部教授（全国老人福祉問題研究会運営委員）
 大輪 広美 松本医療福祉専門学校介護福祉学科長
 鈴木 静 愛媛大学法文学部教授
 宮崎 牧子 大正大学社会共生学部教授
 豊永 誠 元信州豊南短期大学幼児教育学科教授
 秋元 典子 甲南女子大学副学長・看護・リハビリテーション学部長
 義基 祐正 名寄市立大学保健福祉学部講師
 石坂 誠 敬和学園大学人文学部准教授
 石倉 康次 立命館大学産業社会学部特任教授
 大池 弘子 社会福祉法人「絆の会」理事長 精神保健福祉士
 田邊 順一 写真家
 藤原 るか ホームヘルパー国家賠償訴訟原告
 河合 隆平 東京都立大学人文社会学部准教授
 菌部 英夫 日本障害者協議会副代表
 松本あつ子 公益社団法人 長野県看護協会会長
 酒井 幸子 看護師、看護系大学非常勤講師
 秋山 正子 白十字訪問看護ステーション統括所長
 宮脇 文恵 宇都宮短期大学人間福祉学科教授
 井上 英夫 金沢大学名誉教授
 柳澤 玉枝 公益社団法人 長野県介護福祉士会会長
 井口 克郎 神戸大学発達科学部准教授
 山本 直樹 新生病院診療部長
 清水 健 長野県老人保健施設協議会会長
 諏訪 智子 ハートライン松本施設長
 白沢 仁 障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会事務局長
 ニノ坂保喜 にのさかクリニック院長
 服部万里子 NPO渋谷介護サポートセンター事務局長・和歌山県立医科大学 大学院非常勤講師
 清水 強 松本医療福祉専門学校学校長
 徳田 安春 群星沖縄臨床研修センター長
 高橋 昭彦 ひばりクリニック院長
 尾台 安子 超高齢社会の介護を支える研究会会長